

# 地方創生推進交付金事業についての質問・回答

資料 6

事業の名称	質問	担当課	回答
とくしま新未来産業のブランド創出とグローバル展開戦略	1 「とくしま地域資源活用支援事業」の商品開発数が、2018年から2020年まで大幅な未達である理由をどのように考えているか。	経済政策課	<p>これまで、新商品開発や展示会出展、インフルエンサーによるPRを行うなど、取り組みを進めてきました。令和2年度には商品開発に関する取組を実施する予定であったものの、新型コロナウイルス感染症の影響により事業が中止となったこともあり目標を達成することができませんでした。藍染製品等は近年注目されており、商品開発については事業者において様々な試みがなされており、商品開発について自発的に行われている状況であると認識しています。</p> <p>また、令和2年7月に徳島市産業支援交流センターがオープンしたことにより藍染製品の作品が店頭に並び、このことにより多くの事業者が製品開発・改良に取り組むことができました。この数字に反映はされていないものの、コロナ禍での新たな販路となったことと、店舗をもたない藍染作家がPRできる場となり販路を広げるチャンス場になっています。</p>
	2 「とくしま地域資源活用支援事業」について、藍染体験マップパンフレットの印刷部数、配布先など具体的な情報を教えてほしい。	経済政策課	<p>日本語版を2万部、英語・中国語版を各1万部印刷しました。</p> <p>配布場所は、徳島市や鳴門市の観光案内所や徳島市内及び松茂町の物産館、その他うずの道や阿波十郎兵衛屋敷、阿波踊り会館などの観光施設や市内のホテル、阿波おどり空港や南海フェリー乗り場など内外約40か所に順次配布しました。また、要望があれば、今後も配布を行う予定としています。</p>
	3 事業者の業種内訳など、今後の事業の見直しに必要な情報を教えてほしい。 (※どの事業に関することでもいいので、事業の見直し等に当たり、参考となる何らかの情報を記載してください)	経済政策課	<p>経済政策課の事業は、広く市内の中小企業に対応する支援であるため、支援方法によって対象事業が変わってきます。</p> <p>販路拡大事業では、商品開発や展示会による新規販路開拓など、自ら設備投資を行い、モノづくりに取り組む製造業者が対象になるメニューが多いです。</p> <p>創業支援に係る事業については、業種に限りはないが比較的参入しやすい飲食業や理美容などが多い傾向があります。創業については補助金支給の後、中小企業診断士によるフォローアップも実施しています。</p> <p>また、企業誘致では、近年ではコールセンターなどが多くなっています。</p>
	4 コロナ禍を踏まえて、どのような事業展開を考えているか。	<p>経済政策課</p> <p>農林水産課</p>	<p>ECビジネスに参入し、販路拡大を行おうとする中小企業者に対し、必要な経費を補助することにより、新規需要の掘り起こしと収益の改善を図ります。</p> <p>商品開発支援事業では要件である大学等の学術機関との連携だけでなく他業種と連携して行った商品開発も補助対象とするよう要件変更を行っております。また、首都圏のバイヤーを招いて行っていた産地商談会をオンラインで実施する等、コロナ禍やアフターコロナにおける販路拡大に向けた取組をさらに推進してまいります。</p>

事業の名称	質問	担当課	回答
四国のゲートウェイを起点とした「おどる宝島★とくしま観光・文化プログラム」発信戦略	1 「地域ブランド調査」の魅力度における順位について詳細な情報がほしい。	にぎわい交流課	認知度:全国130位、魅力度:全国217位、情報接触度:全国179位、居住意欲度:全国285位、観光意欲度:全国113位、産品購入意欲度:全国138位、食品想起率:全国194位、食品以外想起率:全国314位(1000市区町村中)
	2 「地域ブランド調査」の魅力度における順位を上げている他の自治体がどのような施策で順位を上げているのか、何か例があれば教えてほしい。	にぎわい交流課	魅力度を最も伸ばしたのは系満市(264位→143位)です。既存の観光施設以外に、子供がいる家族向けの観光情報を積極的にSNSなどで配信しています。密を避けられる自然が楽しめる屋外レジャーなどの注目度が上がっています。魅力度ランキング14位的那覇市へのアクセスも便利です。
	3 交付金対象外の取組での自己点検をした理由を教えてください。(あっさり諦めても良い)	事務局	インバウンド誘客に関する交付金計画に位置付けた事業は全て中止となりましたが、同趣旨の取組で実施していた事業もありました。記載が何もない場合は、市の取組が見えにくくなるため、これらをお示しして、参考にしようとした次第ですが、委員のご指摘は、今後の参考にさせていただきます。
徳島東部地域におけるDMO推進	1 (DMO推進について他自治体と)連携していると思うが、新しい観光スタイルやSNS発信などの事業において、自治体による差異はあったか。	にぎわい交流課	新しい観光スタイルの事業としては、「フード&クラフトツーリズム」のように域内の全市町村を対象として、各市町村に1~2個の体験型商品を造成する事業の他、滞在時間延伸と宿泊促進を目的とした本市限定の「ナイトタイムコンテンツ」の造成や欧米豪向けの誘客推進を目的とした鳴門市限定の「鳴門滞在型コンテンツ」の造成、また、旧遍路道を有する市町村を対象とした「東徳島トレイル開発事業」など各自治体の特徴を活かした事業が実施されました。 SNS発信については、他自治体やDMOと連携を図りながら、各市町村希望のコンテンツとDMO選択のコンテンツが自治体間で偏りなく発信されています。
	2 イーストとくしま観光推進機構は、今後どのような役割を担っていくのか。	にぎわい交流課	ウィズコロナ・アフターコロナ時代において、旅行者が求める旅行の近場化や自然志向等の「新しい旅行スタイル」に対応した新規事業の創出を推進し、観光消費額の増加による、地域経済を活性化させる役割、及び地域の人々が、観光客との触れ合い等により、地域の魅力を再発見する取組みを通じて、地域への愛着や誇りを醸成する役割を担います。
	3 宿泊者数等のKPIが未達成の中で、地方創生への効果をA評価としているのはなぜか。	にぎわい交流課	新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受けたため、KPI(延べ宿泊者数や観光入込客数)は未達成でしたが、コロナ禍において、旅行の価値観が、旅の近場化、長期化、個人化等へと大きく変化し、新たなニーズが自然の満喫、大都市より地方都市等の傾向になる中、「東徳島トレイル開発事業」や「ナイトタイムコンテンツ」などのコンテンツの造成や磨き上げを積極的に進めるとともに、SNS等の活用により幅広く情報発信を行いました。その結果、WEBサイトアクセス数が、前年より大きく伸び、マイクロツーリズムの促進等により、シビックプライドの醸成を進め、「住んでよし」、「訪れてよし」の観光地づくりを進めることができたため、A評価としました。

事業の名称	質問	担当課	回答
労働力人口の確保プロジェクト	1 「ワークライフバランス推進事業」について、奨励金の交付及び金額のインセンティブ効果はどの程度あると考えられるか。	経済政策課	近年、予算はほぼ満額執行されており、奨励金交付の効果は大きいと考えています。
	2 「ワークライフバランス推進事業」の参加企業に関する情報がほしい。	経済政策課	参加企業の業種内訳としては、 令和2年度： 建設業3、小売業2、製造業1、飲食業1、サービス業1 計8社 令和元年度： 建設業3、小売業1、飲食業1、サービス業1、不動産業1 計7社 となっています。
	3 労働局等との連携、すみわけ(対象者の違い)はできているか。	経済政策課	労働局の事業や制度改正について、ホームページや広報紙へ掲載を行うほか、ハローワークとの共催による就職面接会を開催するなど、連携を図っています。
人が集い新たな価値が生まれるにぎわいとくしま推進事業	1 移住促進事業について、移住交流支援センターを駅前に移転したことで利用者は増加したのか。また、センターの活動内容の詳細はどのようなものか。	企画政策課	徳島市移住交流支援センターは、今年度からアミコビル地下1階に移転し、運営しているところ。移転後のセンターへの対面・電話等による相談件数は約25件(7月中旬時点)と大幅に増加しています(昨年度1年間分とほぼ同等数)。センターでは、移住検討者に対する情報提供・相談をはじめとして、ホームページ等を活用した魅力発信、移住相談会への参加などを行っています。今後は一層の機能強化を図っていく方向性にあります。
	2 「リノベーションまちづくり推進事業」について、「まちづくり会社」について詳細を教えてください。	都市建設政策課	リノベーションまちづくりとは、遊休不動産や公共空間などの「今ある資源」を生かし、これまでにない新しい使い方でもちを変えていく民間主導のまちづくりの手法です。まちづくり会社とは、不動産オーナーと事業主とのマッチングを行い、管理料などを財源としてまちのマネジメントを行う民間の組織になります。
	3 リノベーションまちづくり推進事業について、講演会やワークショップの内容を教えてください。	都市建設政策課	講演会では、主にリノベーションまちづくりの手法の普及啓発、ワークショップではリノベーションまちづくりの担い手の人材育成を目的として実施しました。これまで実施した講演会やワークショップなどの取り組みについては、徳島市ホームページ(都市建設政策課のページ内)で公開しています。今後の取り組みについても、随時更新予定です。

事業の名称	質問	担当課	回答
その他(全般)	1 各地方創生事業におけるKPIの「実績値」、「地方創生への効果(事業の効果検証)」、「令和3年度の予算額」との関係について教えてください(関連性があるのか、ないのか)。	事務局	地方創生事業の推進に当たっては、以下のとおり、PDCAサイクルを運用しています。 ・計画・実績(KPIの実績値等) → PLAN・DO ・効果検証(地方創生への効果等) → CHECK ・今後の方向性(令和3年度予算等) → ACTION このように、KPIの実績値などを基に効果検証を行い、それを踏まえ今後の方向性を確認しており、相互の関連性があります。第2期総合戦略の自己点検を開始したばかりで、不十分な部分もあるかもしれませんが、今後もPDCAサイクルを適切に運用できるよう努めていきたいと考えています。
	2 目標値が累計になっている事業については、評価年度のみ達成量も記してほしい。	事務局	別紙をご参照ください。
その他 (基本目標1関連)	1 創業支援は他の市町村でも力を入れていると思うが、近隣の市町村と比較して徳島市の支援内容の強みや課題はどういった点だと思うか。	経済政策課	人口減少による経済の縮小に対し、徳島市周辺3市(鳴門市、小松島市、阿南市)の創業支援の状況は、3市とも国による創業支援等事業計画の認定を受けて連携窓口の設置及び創業セミナー等を実施しており、鳴門市は創業促進事業として補助金を交付しています。本市ではそれらに加え大学が集まる地域性を生かした創業機運醸成事業等を行うことで、女性・若者の地元定着を促し、地域経済の活性化を図っています。
その他 (基本目標2関連)	1 子育て支援は他の市町村でも力を入れていると思うが、近隣の市町村と比較して徳島市の支援内容の強みや課題はどういった点だと思うか。	子ども政策課 子ども健康課 子育て支援課 子ども保育課	徳島市では、保育士の労務負担の軽減や県外保育士の確保、保育士養成校の講師による中学・高校への出前講座など、公・民・学が連携しながら、保育士確保を中心に待機児童の解消を図っています。 また、早くから国基準を上回る保育士を配置した場合の補助制度を設けるなど、保育環境の向上にも取り組んでいます。さらに子どもの健やかな成長のため、一層の保育環境の質の向上を目指し、今年度は保育士の研修機会の確保・拡大に取り組むこととしています。 このほかに、市内各地において地域子育て支援事業(在宅育児家庭相談室・親子ふれあいプラザ等)の実施や、妊娠期から母子の健康づくりを支援する講座(プレママ栄養教室等)の開催など、本市の施策方針に基づき特徴的な子育て支援サービスを実施しています。
	2 「子育て応援・支援団出前事業」はC評価となっているが、計画値(登録者160人)を上回る実績値(同161人)となっている。これをKPIとするなら、A評価で良いのではないだろうか。イベント開催数を重視するのであればKPIの変更をするのが良い。	子育て支援課	KPI(登録者数)については、目標値を達成していますが、昨年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、一昨年度より減少したことから、C評価としました。 委員の御意見を踏まえ、KPI(イベント開催数)の変更については、今後の検討課題にしたいと考えております。

事業の名称	質問	担当課	回答
その他 (基本目標4関連)	1 基本目標4の数値目標について、どのぐらいの数の回答に対して79.9%なのか教えてほしい。	事務局	令和2年度に実施した市民満足度調査において、約1,100件の回答があったものです。(配布数は3,000件)
	2 「生活排水対策事業」では、『水質の見える化』が鍵になると思われる。あるいは水質改善対象としている河川において「〇〇が棲める川づくり」といった具体的な目標設定を行い、その実現を目指した活動を展開してはどうだろうか。	環境保全課	生活排水による河川の汚濁防止を目的に、生活排水対策推進計画の見直し作業を進めており、このなかで目標や取組方針などを定めることとしております。いただきました意見を参考にしながら、計画づくりを進めていきたいと考えております。
	3 「市民のニーズに対応した価値ある医療の提供」では、目標値(分娩件数660件)に対して実績値(同550件)をもってB評価としているが、需要が目標値以内であり、需要全てに対応できていたのであれば市民のニーズを満たしているのではA評価で良いと考えるがどうであろうか。	市民病院 (医事経営課)	コロナ禍で産み控え等の外的要因もございますが、目標値を下回っていることから「B評価」と考えております。
	4 「医療人材育成事業」はD評価となっている。実習生の受け入れが難しいからと募集人員を安易に削減するのではなく、徳島大学の担当部署との綿密な打ち合わせをして多くの学生が参加したくなるような前向きな工夫は難しいだろうか。	市民病院 (総務管理課)	<p>医学生の実習については、新型コロナウイルス感染の影響により大部分が中止に追い込まれたものの、初期臨床研修医獲得のため市民病院の魅力アピールする重要な機会と捉えており、今後も積極的な受入を行いたいと考えています。</p> <p>初期臨床研修医の募集人員の削減については、令和2年度の採用者が0人であったという現実を踏まえ、現実的な目標値として設定したのですが、今後の応募・採用状況を勘案しながら、募集人数の見直しを検討していきます。</p> <p>徳島大学とも緊密に連携し、初期臨床研修から専門医資格の取得まで、医師のキャリア形成を継続的にサポートする体制の強化に努めます。</p>
	5 「障害者見守りネットワークの構築」の「障害者」は「障害者」あるいは「障がい者」と表記するのが望ましい。この事業での「協力」とは具体的に何を指すのか明示して欲しい。	障害福祉課	<p>障害者基本法・身体障害者福祉法・障害者総合支援法において、「障害」の表記を用いており、本市においても、同様に「障害」と表記しています。</p> <p>この事業での「協力」とは、各協定事業所とネットワークを構築し、それぞれの業務において、高齢者や障害者等の異変に気づいた場合は、連絡窓口(地域包括支援センター又は障害福祉課)に連絡を行うなどの見守り活動や安否確認等の活動を市内全域で展開しています。</p>

(別紙)  
 KPIが累計値となっている事業の  
 単年における令和2年度の実績値について

事業名	KPI	単年でのR2実績値
農商工連携等支援事業	農商工連携により開発した商品数(累計)	1商品
とくしま地域資源活用支援事業	地域資源活用高付加価値商品数(累計)	0商品
高収益作物導入支援事業	交付対象農地面積(累計)	114a
保育料の負担軽減	負担軽減対象児童数(保育所、認定こども園)(累計)	308人
認定こども園整備事業	市立幼保連携型認定こども園数(累計)	1施設
学童保育事業	学童保育クラブ数(累計)	▲1クラブ
赤ちゃんの駅登録推進事業	登録施設数(累計)	0箇所
インスタグラムで徳島市の魅力発信	公式アカウントのフォロワー数(累計)	23人
リノベーションまちづくり事業	民間まちづくり会社の設立(累計)	0件
地域公共交通の活性化	①交通局から市長部局への移行・再編路線数(累計)	0路線
RPA・AI活用に向けた調査・研究	RPA・AI適用業務数(累計)	実証1業務
地域包括ケアシステムの深化・推進	介護予防に資する住民主体の通いの場の数(累計)	9件
新たな地域自治協働システム構築事業	新たな地域自治協働システム構築地域数(地域まちづくり計画策定地域数)(累計)	4地域
橋りょう耐震化事業	緊急輸送道路や避難路等に係る橋りょうの耐震化率(累計)	5%増
地域防災力強化事業	避難支援マップ作成地区数(累計)	1地区
地区別津波避難計画策定事業	地区別津波避難計画策定地区数(累計)	0地区
東・西消防署への日勤救急隊創設	日勤救急隊の創設(累計)	1隊
障害者見守りネットワークの構築	協力事業所数(累計)	3社
パートナーシップ宣誓制度の実施	宣誓者数(累計)	5組
トップアスリート「夢の教室」実施事業	「夢の教室」実施校・クラス数(累計)	新規 0校・0クラス